



## 2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月28日

上場会社名 キムラユニティ株式会社  
 コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 茂広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 小山 幸弘

TEL 052-962-7053

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

2021年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	26,948	13.1	1,232	116.6	1,562	162.0	1,011	252.5
2021年3月期第2四半期	23,837	10.2	568	50.4	596	51.7	286	58.7

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,817百万円 (620.3%) 2021年3月期第2四半期 252百万円 (62.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	83.79	
2021年3月期第2四半期	23.76	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	54,356	32,422	56.8	2,558.45
2021年3月期	54,061	30,736	54.4	2,437.90

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 30,876百万円 2021年3月期 29,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		19.00		21.00	40.00
2022年3月期		20.00			
2022年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	8.1	2,800	15.0	3,200	13.8	2,000	24.7	165.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	12,070,000 株	2021年3月期	12,070,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,749 株	2021年3月期	1,749 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	12,068,251 株	2021年3月期2Q	12,068,251 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
3. その他 .....	10
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、国内では新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の制限が続く中、依然として厳しい状況が続きました。ワクチン接種が進み新規感染者数が減少に転じる中、感染拡大の抑制に向けた政策の効果による個人消費の回復が期待されるものの、感染力の強い変異株の出現による感染拡大リスクにより、先行きは依然として不透明です。

海外においても、欧米や中国など経済の回復傾向が見られるものの、中国における電力制限措置に伴う生産活動への影響懸念、新型コロナウイルスからの回復を受けての材料価格の高騰、半導体不足の影響等を含め先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループと関係の深い自動車業界でも、国内外で加速しているCASE(コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)への取り組み等の「100年に1度の大変革期」を迎える中、世界的な車載用半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大に伴う部品調達停滞の影響による自動車の減産という厳しい状況に直面しており、今後の自動車部品の調達環境や新型コロナウイルス感染の動向については、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、物流サービス事業における主要顧客からの受注量の増加等により、売上高は、26,948百万円(前年同期比13.1%増収)となりました。営業利益は、主力事業である物流サービス事業の増収等により、1,232百万円(前年同期比116.6%増益)、経常利益は1,562百万円(前年同期比162.0%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,011百万円(前年同期比252.5%増益)となりました。

なお、主なセグメント別の売上高(セグメント間の内部売上を含む)、営業利益の状況は次の通りであります。

#### ① 物流サービス事業

売上高は、海外子会社KIMURA, INC.でのパレット事業の受注減少に伴う減収及び国内外を含めた新型コロナウイルス感染症の影響や車載用半導体不足等による稼働停止の影響はあったものの、包装事業において主要顧客の受注量の増加等により、18,994百万円(前年同期比17.9%増収)となりました。営業利益は格納器具製品事業において材料費の高騰や海外子会社KIMURA, INC.の収益悪化等はありませんでしたが、包装事業において海外子会社広州広汽木村進和倉庫有限公司での受注量の増加等もあり、1,695百万円(前年同期比96.1%増益)となりました。

#### ② 自動車サービス事業

売上高は、車両整備事業におけるメンテナンス契約台数の増加等はありませんでしたが、車両販売事業における販売台数の減少等により、6,965百万円(前年同期比1.2%減収)となりました。営業利益は、293百万円(前年同期比15.3%増益)となりました。

#### ③ 情報サービス事業

売上高は、主要顧客からの受注が回復したこと等により、747百万円(前年同期比27.1%増収)となりました。営業利益は、原価率悪化の影響等により、31百万円(前年同期比30.7%減益)となりました。

#### ④ 人材サービス事業

売上高は、市場の人材獲得競争の中、エリア貢献の拡販(中部、関西、関東への展開)実現に向けて積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、461百万円(前年同期比73.3%増収)となりました。営業損益は関西拠点での派遣人件費の増加等により、0百万円の損失(前年同期は営業利益5百万円)となりました。

#### ⑤ その他サービス事業

売上高は、太陽光発電による売電サービスにより、25百万円(前年同期比7.2%減収)となりました。営業利益は9百万円(前年同期比17.2%減益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は54,356百万円となり、前連結会計年度末に比較して295百万円の増加となりました。その主な要因は、固定資産が投資有価証券の増加等により345百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は21,933百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,391百万円の減少となりました。その主な要因は、未払金の減少等により流動負債が1,659百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して1,686百万円増加の32,422百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.4ポイント上昇の56.8%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して521百万円増加し8,478百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては921百万円の収入で、前年同四半期に比べ47百万円の収入減となりました。主な要因は、長期未払金の増減額が412百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては217百万円の支出で、前年同四半期に比べ53百万円の支出減となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入が105百万円増加したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間におきましては442百万円の支出で、前年同四半期に比べ55百万円の支出増となりました。主な要因は、リース債務の返済による支出が67百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年7月29日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,426	8,948
受取手形及び売掛金	8,461	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	8,156
リース投資資産	8,521	7,952
商品及び製品	420	392
仕掛品	115	24
原材料及び貯蔵品	184	374
その他	886	1,119
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,015	26,965
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,678	8,678
機械装置及び運搬具(純額)	469	526
賃貸資産(純額)	475	492
土地	6,795	6,807
リース資産(純額)	797	735
建設仮勘定	117	5
その他(純額)	1,040	1,175
有形固定資産合計	18,374	18,422
無形固定資産		
のれん	45	37
その他	945	1,080
無形固定資産合計	991	1,117
投資その他の資産		
投資有価証券	4,840	5,014
繰延税金資産	253	198
その他	2,613	2,669
貸倒引当金	△29	△31
投資その他の資産合計	7,679	7,850
固定資産合計	27,045	27,391
資産合計	54,061	54,356

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,071	927
短期借入金	760	812
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払金	3,214	2,809
未払費用	2,830	2,919
リース債務	423	490
未払法人税等	539	644
賞与引当金	1,159	942
役員賞与引当金	30	15
その他	1,058	868
流動負債合計	12,088	10,429
固定負債		
長期借入金	3,000	4,000
長期末払金	5,571	5,156
リース債務	1,185	1,118
退職給付に係る負債	214	23
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	390	330
固定負債合計	11,236	11,504
負債合計	23,325	21,933
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,580	3,580
資本剰余金	3,444	3,444
利益剰余金	21,325	22,206
自己株式	△1	△1
株主資本合計	28,348	29,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,401	1,503
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	△264	154
退職給付に係る調整累計額	△600	△547
その他の包括利益累計額合計	1,072	1,646
非支配株主持分	1,314	1,546
純資産合計	30,736	32,422
負債純資産合計	54,061	54,356

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	23,837	26,948
売上原価	19,903	22,156
売上総利益	3,934	4,792
販売費及び一般管理費	3,365	3,560
営業利益	568	1,232
営業外収益		
受取利息	19	29
受取配当金	35	39
持分法による投資利益	46	217
雇用調整助成金	38	—
為替差益	—	43
その他	21	45
営業外収益合計	162	376
営業外費用		
支払利息	49	36
為替差損	68	—
その他	17	9
営業外費用合計	135	45
経常利益	596	1,562
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	1	78
特別損失		
固定資産除売却損	8	14
その他	1	0
特別損失合計	9	15
税金等調整前四半期純利益	587	1,625
法人税、住民税及び事業税	230	543
法人税等調整額	△10	△53
法人税等合計	219	489
四半期純利益	368	1,135
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	286	1,011



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	368	1,135
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	102
為替換算調整勘定	△138	511
退職給付に係る調整額	88	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△130	14
その他の包括利益合計	△116	681
四半期包括利益	252	1,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207	1,585
非支配株主に係る四半期包括利益	44	231

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	587	1,625
減価償却費	704	813
のれん償却額	7	7
持分法による投資損益(△は益)	△46	△217
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△229	△235
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△52	△115
受取利息及び受取配当金	△55	△69
支払利息	99	81
為替差損益(△は益)	56	△43
有形固定資産売却損益(△は益)	△122	△104
有形固定資産除却損	8	14
投資その他の資産評価損	1	—
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	△77
売上債権の増減額(△は増加)	1,322	652
棚卸資産の増減額(△は増加)	248	△153
リース投資資産の増減額(△は増加)	△82	367
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△414	△315
仕入債務の増減額(△は減少)	△368	△149
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△432	△277
長期未払金の増減額(△は減少)	△3	△415
その他の固定負債の増減額(△は減少)	135	△223
小計	1,325	1,149
利息及び配当金の受取額	102	191
利息の支払額	△99	△81
法人税等の支払額	△358	△338
営業活動によるキャッシュ・フロー	969	921
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△320	△368
有形固定資産の売却による収入	149	243
投資有価証券の取得による支出	△47	△0
投資有価証券の売却による収入	—	105
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△52	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271	△217
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,000	—
短期借入金の返済による支出	△1,000	—
長期借入れによる収入	2,000	1,000
長期借入金の返済による支出	△2,000	△1,000
リース債務の返済による支出	△121	△188
配当金の支払額	△265	△253
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386	△442
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	259
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247	521
現金及び現金同等物の期首残高	6,035	7,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,282	8,478

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準等」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる額で収益を認識することといたしました。

これにより、以下の変更が発生しております。

- ・物流サービス事業の包装事業において、従来は売上原価として計上していた一部の費用について、顧客に支払われる対価として売上高から減額しております。
- ・自動車サービス事業の自動車販売事業において、従来は新車登録時点で収益を認識しておりましたが、車両引渡時点で収益を認識する方法に変更しております。
- ・自動車サービス事業の保険代理店事業において、従来は顧客からの代金支払時点で収益を認識しておりましたが、一時点での履行義務の充足として、保険契約始期時点で収益を認識する方法に変更しております。
- ・情報サービス事業において、従来は顧客の検収時に一時点で収益を認識しておりましたが、当該履行義務が一定期間にわたり充足されているため、財又はサービスが顧客に移転されるにつれて、一定の期間にわたり収益を認識するよう変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡求適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡求適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、第2四半期累計期間の売上高は21百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ33百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第2四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	16,106	7,027	587	86	23,809	27	23,837	-	23,837
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	-	20	-	179	200	-	200	△200	-
計	16,106	7,048	587	266	24,009	27	24,037	△200	23,837
セグメント 利益	864	254	45	5	1,169	11	1,180	△611	568

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。  
2. セグメント利益の調整額△611百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△613百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	18,983	6,945	747	246	26,922	25	26,948	-	26,948
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	10	20	-	214	245	-	245	△245	-
計	18,994	6,965	747	461	27,168	25	27,194	△245	26,948
セグメント 利益又は損 失(△)	1,695	293	31	△0	2,018	9	2,028	△796	1,232

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。  
2. セグメント利益の調整額△796百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△797百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

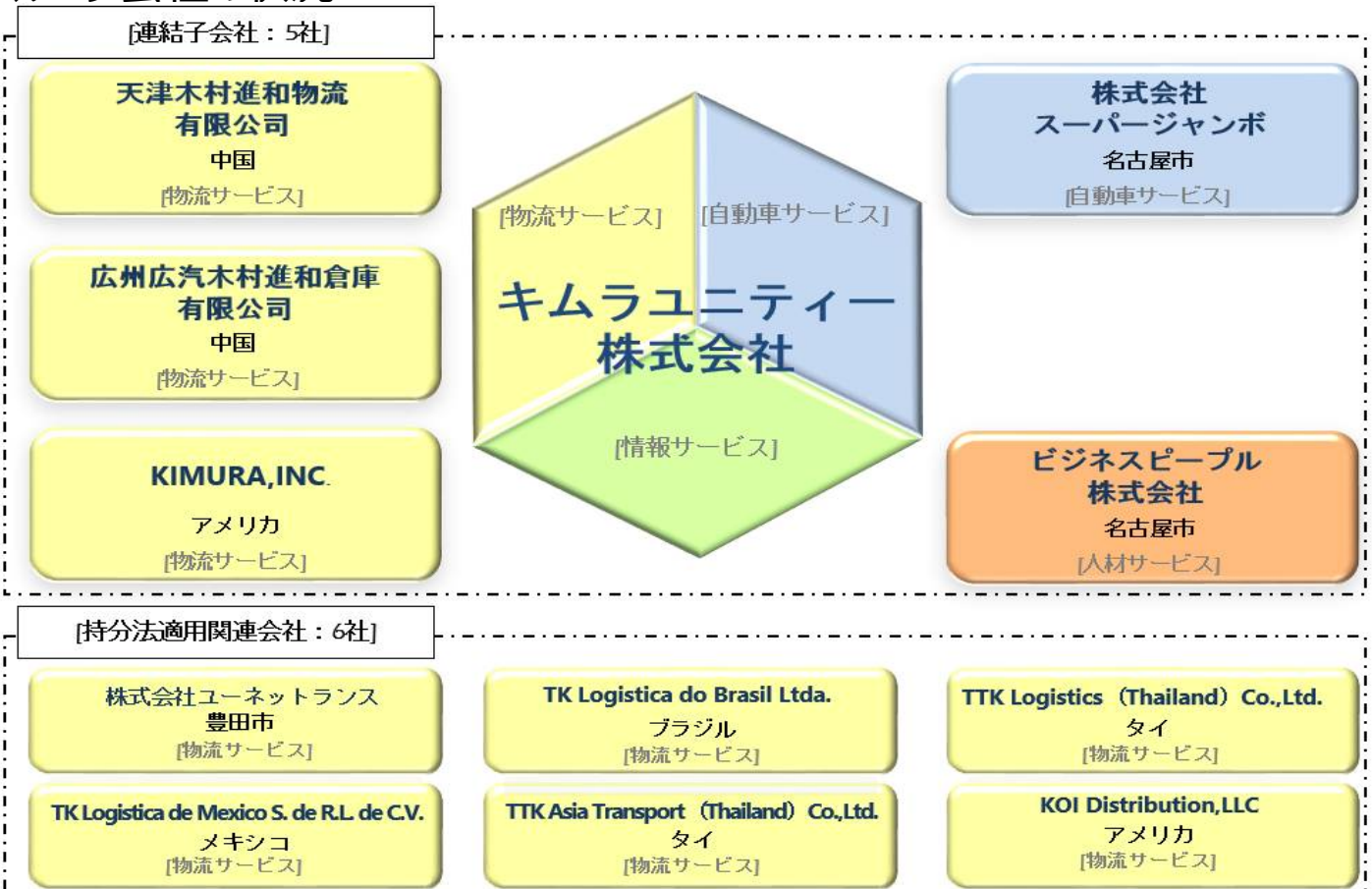
# 2022年3月期 第2四半期累計 決算発表 説明資料

2021年10月28日

本資料には現時点での将来の予測数値が含まれていますが、  
実際の業績は様々な要因により変動することがありますのでご注意ください。

## グループ会社の状況

※前期末からの変動はありません。



# 1. 連結決算の実績

## (1) 連結業績

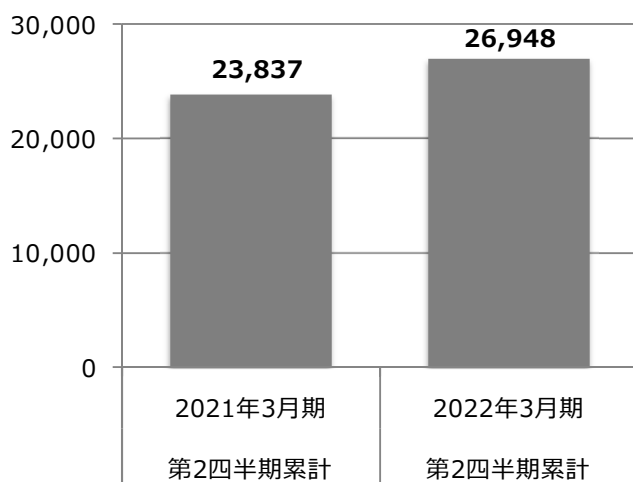
- ・ 売上高は、2期ぶりの増収
- ・ 営業利益・経常利益・四半期純利益は、2期ぶりの増益

(売上・利益ともに第2四半期累計において過去最高)

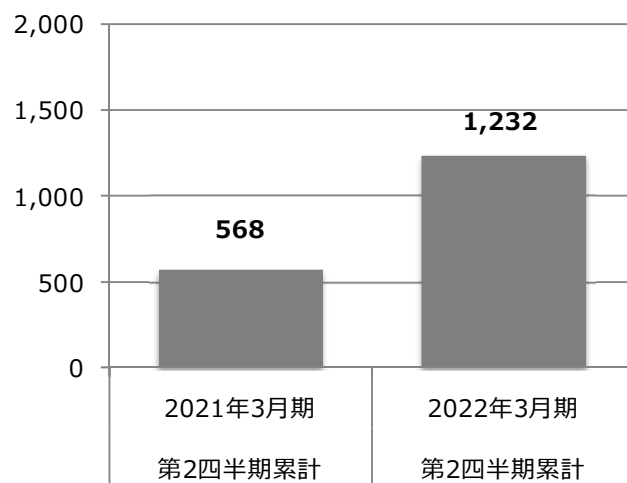
(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
売上高	23,837	26,948	3,111	113.1
営業利益	568	1,232	663	216.6
経常利益	596	1,562	966	262.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	286	1,011	724	352.5
1株当たり四半期純利益	23円76銭	83円79銭	60円03銭	
包括利益	252	1,817	1,564	720.3

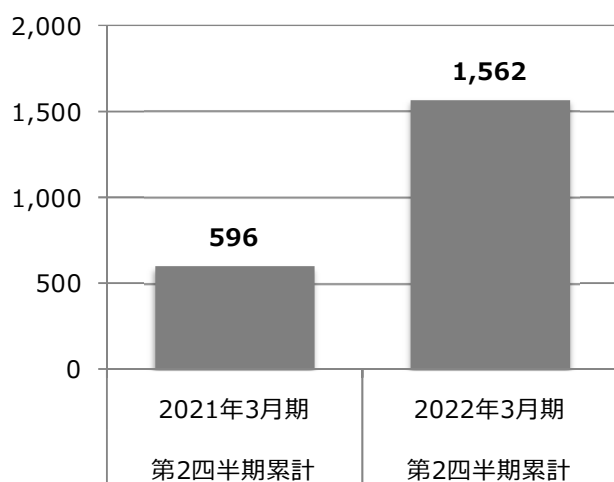
### 売上高



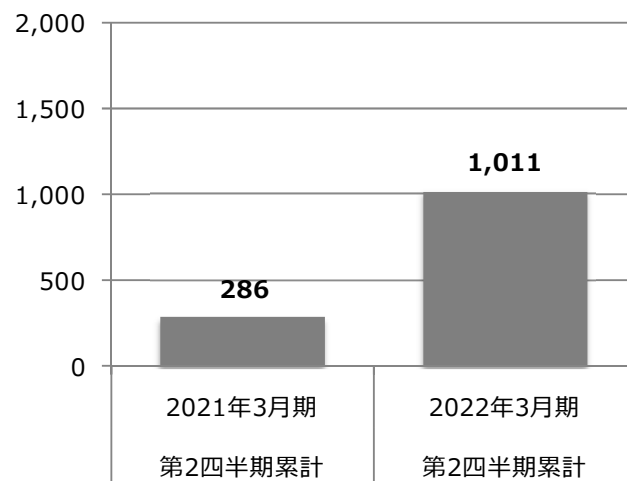
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期純利益



# 1. 連結決算の実績

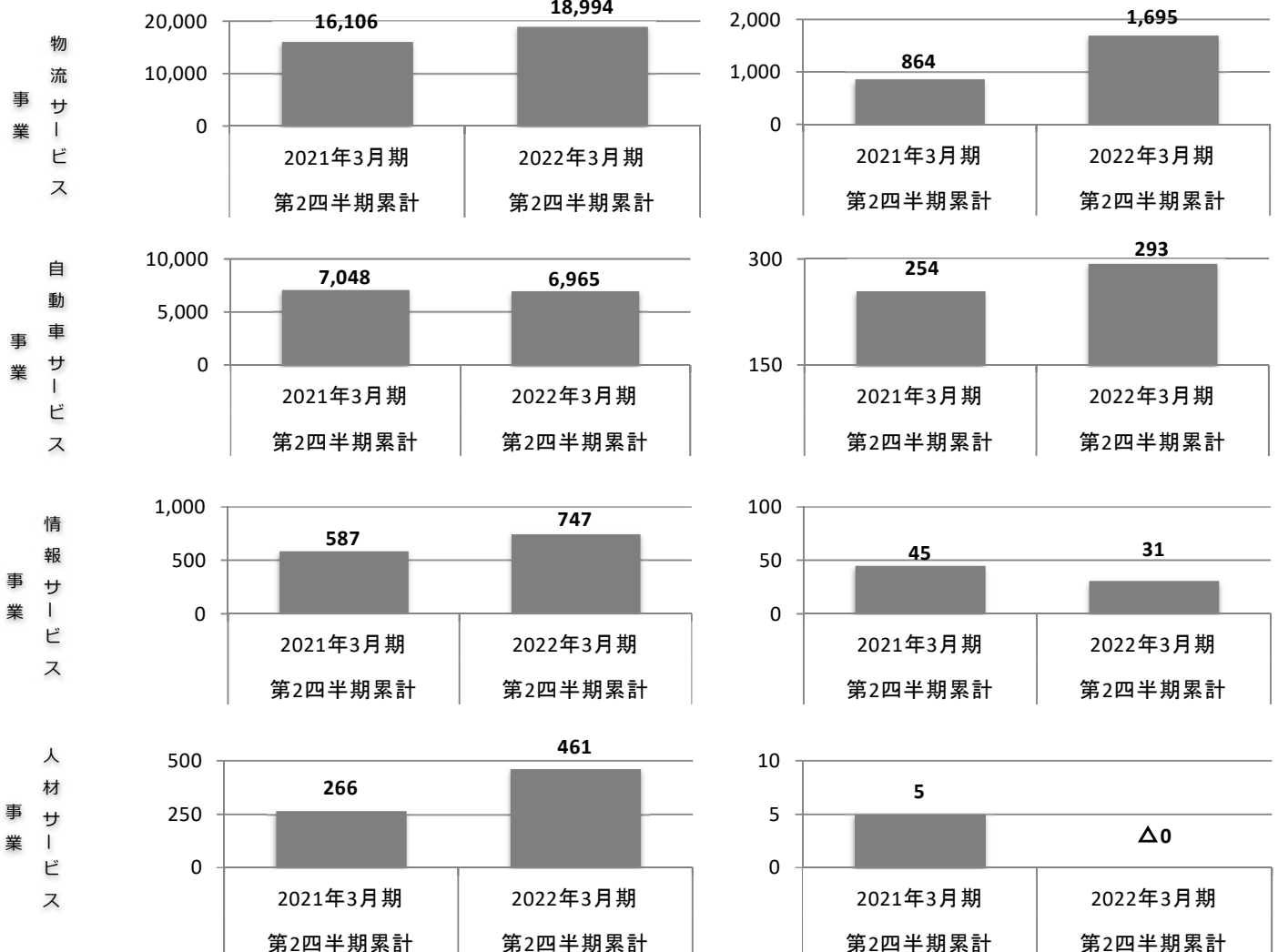
## (2) セグメント別業績

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
物流サービス事業	16,106	18,994	2,887	117.9
自動車サービス事業	7,048	6,965	△ 82	98.8
情報サービス事業	587	747	159	127.1
人材サービス事業	266	461	194	173.3
その他サービス事業	27	25	△ 2	92.8
小計	24,037	27,194	3,156	113.1
消去又は全社	△ 200	△ 245	△ 45	—
<b>売上高</b>	<b>23,837</b>	<b>26,948</b>	<b>3,111</b>	<b>113.1</b>
物流サービス事業	864	1,695	830	196.1
自動車サービス事業	254	293	38	115.3
情報サービス事業	45	31	△ 13	69.3
人材サービス事業	5	△ 0	△ 6	—
その他サービス事業	11	9	△ 1	82.8
小計	1,180	2,028	847	171.8
消去又は全社	△ 611	△ 796	△ 184	—
<b>営業利益</b>	<b>568</b>	<b>1,232</b>	<b>663</b>	<b>216.6</b>

### 売上高

### 営業利益



# 1. 連結決算の実績

## (3) 連結品目別売上高

(単位：百万円)

売上区分	売上品目	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
物流サービス事業	包装	14,448	16,404	1,956	113.5
	格納器具製品	1,658	2,589	931	156.1
		16,106	18,994	2,887	117.9
自動車サービス事業	車両リース	3,628	3,551	△ 77	97.9
	車両整備	1,995	2,108	112	105.6
	自動車販売	1,006	883	△ 122	87.8
	カー用品販売	72	71	△ 1	98.0
	保険手数料	325	330	4	101.4
	その他	19	21	1	108.4
		7,048	6,965	△ 82	98.8
情報サービス事業		587	747	159	127.1
人材サービス事業		266	461	194	173.3
その他サービス事業		27	25	△ 2	92.8
小計		24,037	27,194	3,156	113.1
セグメント間売上相殺		△ 200	△ 245	△ 45	-
合計		23,837	26,948	3,111	113.1

## (4) 財政状態

(単位：百万円)

	2021年3月期 期末	2022年3月期 第2四半期累計	前期比 (増減額)	前期比 (%)
総資産	54,061	54,356	295	100.5
自己資本	29,421	30,876	1,454	104.9
自己資本比率(%)	54.4	56.8	2.4	
1株当たり純資産	2,437円90銭	2,558円45銭	120円55銭	

(注) 当第2四半期会計期間末の財政状態は、前期末数値と比較しております。

## (5) キャッシュ・フロー計算書について

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	969	921	△ 47	95.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 271	△ 217	53	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 386	△ 442	△ 55	-
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 63	259	322	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,282	8,478	2,195	134.9



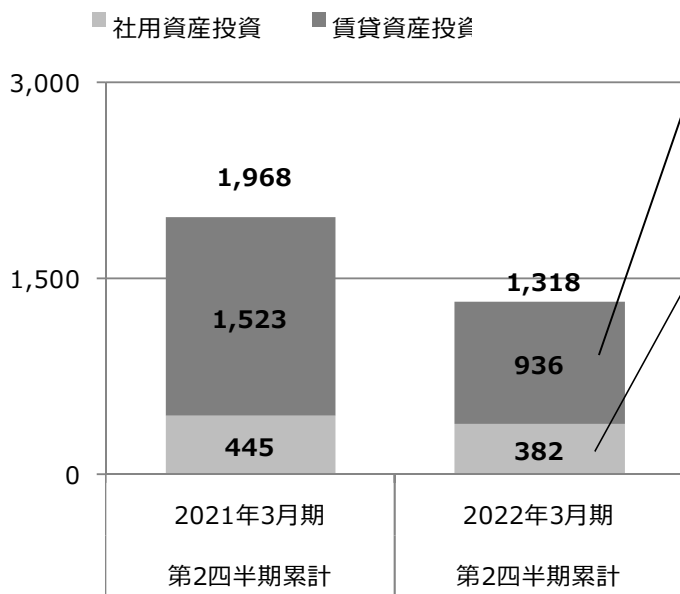
# 1. 連結決算の実績

## (6) 設備投資、減価償却費等の状況

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
社用資産投資	445	382	△ 62	86.1
賃貸資産投資 (※)	1,523	936	△ 587	61.4
設備投資計	1,968	1,318	△ 649	67.0
減価償却費	704	813	108	115.4
リース車輛保有台数	12,163台	11,456台	△ 707台	94.2

(※) 賃貸資産投資につきましては、リース会計基準の改正により、リース用車輛の投資債権は、流動資産の「リース投資資産」に計上しておりますが、比較の便宜上、設備投資として記載しております。



### 〔賃貸資産投資〕

□ 9億36百万円 (前年同期比 5億87百万円減)

(リース車輛保有台数は、  
前年同期比 707台減 11,456台)

### 〔社用資産投資〕

□ 3億82百万円 (前年同期比 62百万円減)

主な投資内容

- ・ 環境投資 33百万円
- ・ 物流倉庫内台車143台 64百万円
- ・ IT投資 1億4百万円

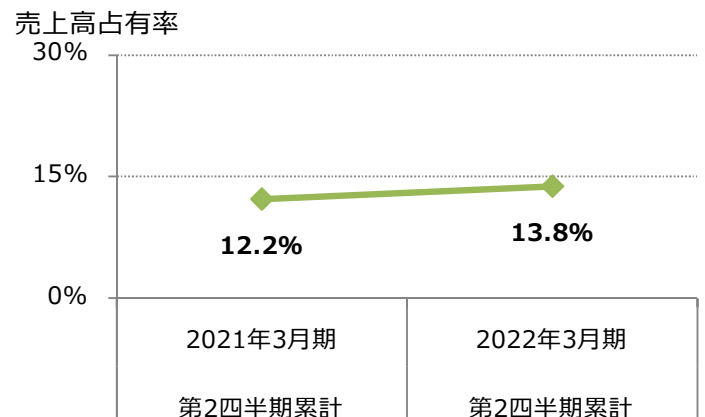
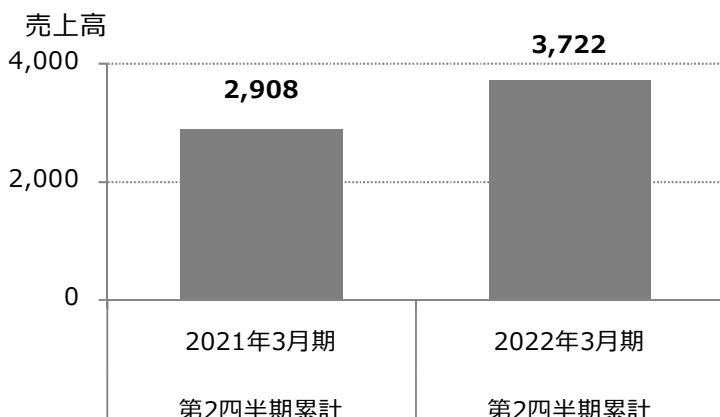
## (7) 海外子会社の取引状況

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
連結売上高	23,837	26,948	3,111	113.1
海外子会社売上高	2,908	3,722	813	128.0

連結売上に対する占率

海外子会社占有率	12.2%	13.8%	1.6%	
----------	-------	-------	------	--



# 1. 連結決算の実績

## (8) 主要取引先との取引状況

(単位：百万円)

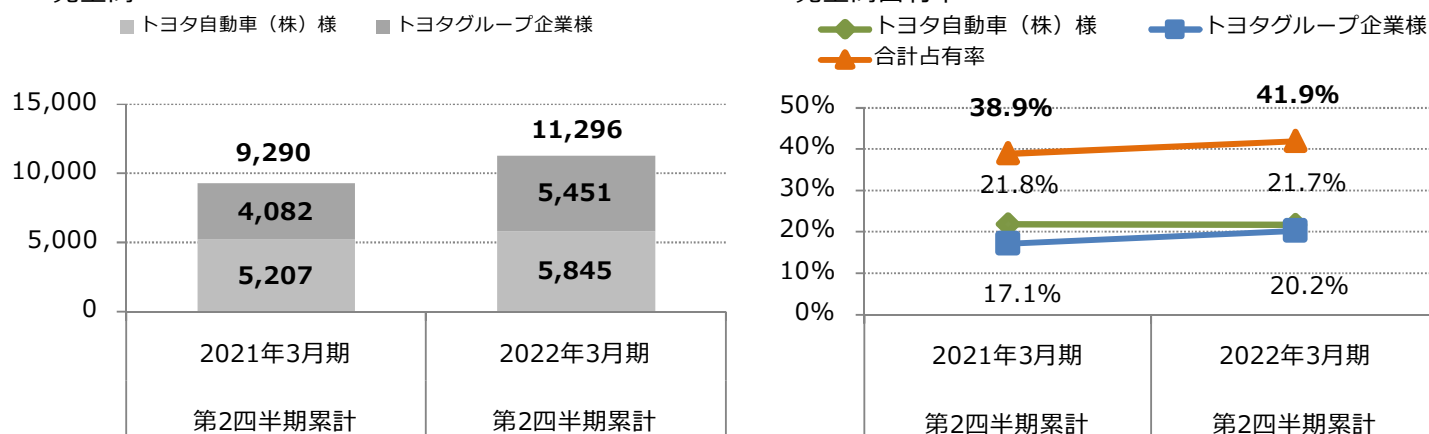
	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
連結売上高	23,837	26,948	3,111	113.1
トヨタ自動車(株)様 ※1	5,207	5,845	637	112.2
トヨタグループ企業様 ※2	4,082	5,451	1,369	133.5
合計	9,290	11,296	2,006	121.6

連結売上に対する占率

トヨタ自動車(株)様	21.8%	21.7%	△0.1%	
トヨタグループ企業様	17.1%	20.2%	3.1%	
合計	38.9%	41.9%	3.0%	

※1：2010年10月にトヨタ自動車(株)様から分離したトヨタホーム(株)様への売上金額は比較の便宜上、上期金額に含めております。

※2：トヨタグループ企業様の取引には、海外でのトヨタ自動車(株)様の現地子会社を含んでおります。  
売上高



## (9) N L S (ニューロジスティクスサービス) 事業の取引状況

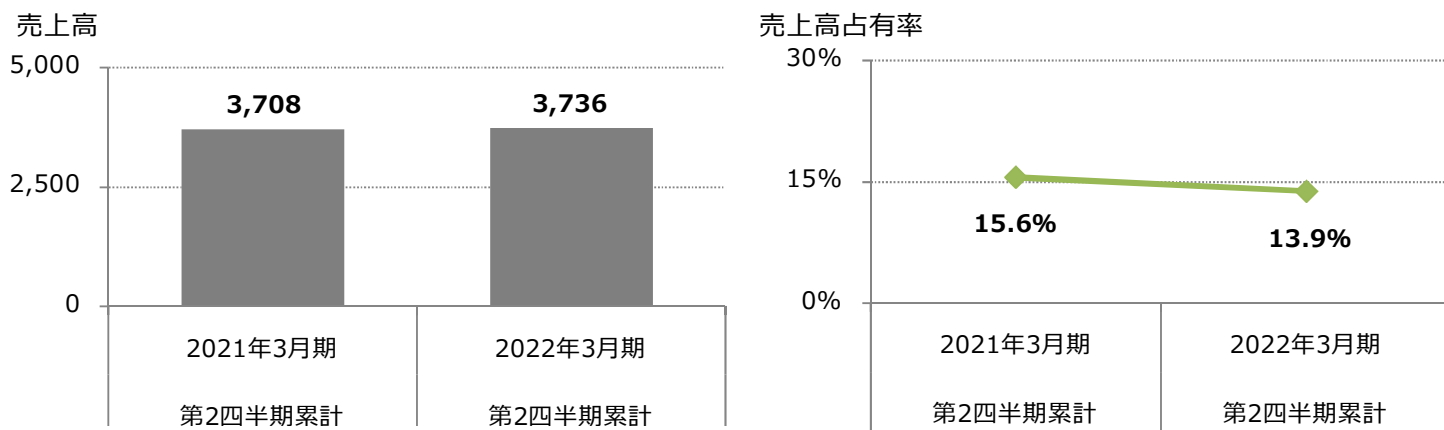
(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (%)
連結売上高	23,837	26,948	3,111	113.1
N L S 事業売上高	3,708	3,736	27	100.8

連結売上に対する占率

N L S 事業占有率	15.6%	13.9%	△1.7%	
-------------	-------	-------	-------	--

N L S 事業は、トヨタ関連以外のお客様をターゲットとしてサービスを提供する 3 P L (サード・パーティ・ロジスティクス) 事業のことです。



## 2. 連結決算の予想

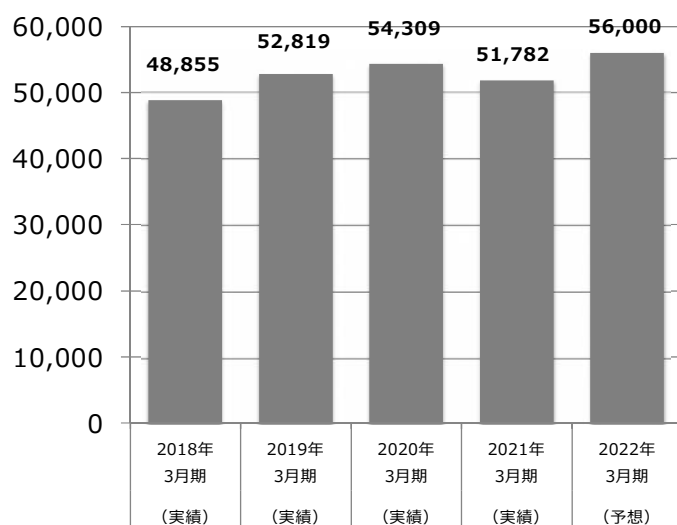
### (1) 連結業績推移

- ・ 売上高は、2期ぶりの増収を予想
- ・ 営業利益・経常利益・当期純利益は、2期ぶりの増益を予想

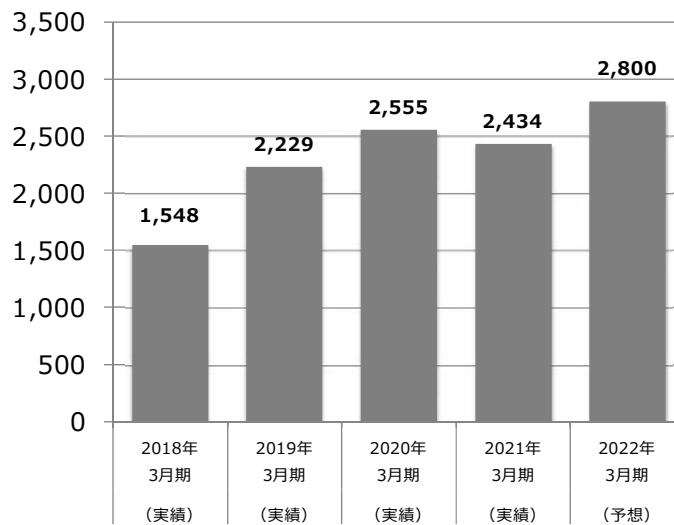
(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
売上高	48,855	52,819	54,309	51,782	56,000	4,217	108.1
営業利益	1,548	2,229	2,555	2,434	2,800	365	115.0
経常利益	1,723	2,433	2,754	2,812	3,200	387	113.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	840	1,451	1,657	1,603	2,000	396	124.7
1株当たり当期純利益	69円68銭	120円27銭	137円33銭	132円86銭	165円72銭	32円86銭	

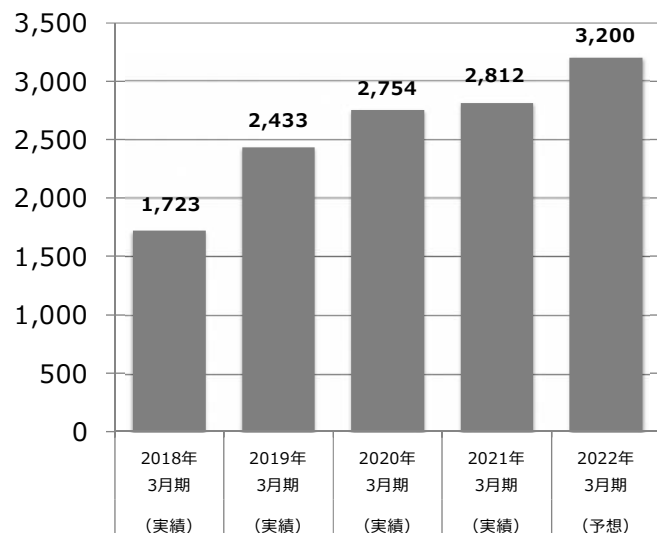
売上高



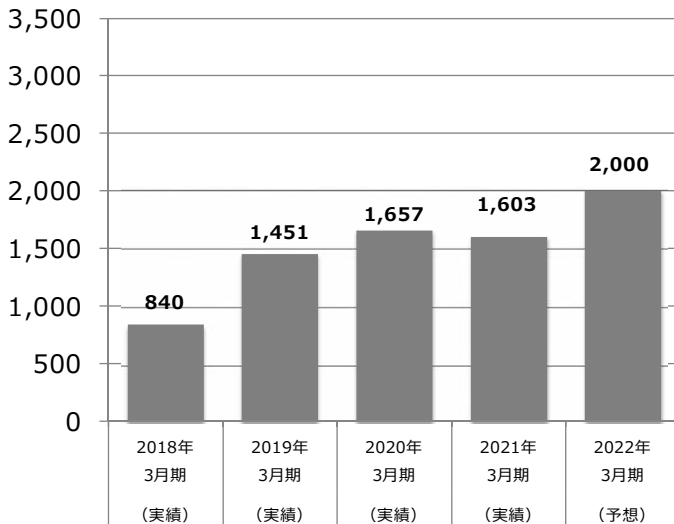
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



## 2. 連結決算の予想

### (2) セグメント別業績推移

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
物流サービス事業	32,186	36,021	37,639	35,885	39,130	3,244	109.0
自動車サービス事業	15,092	15,029	14,898	14,277	14,565	287	102.0
情報サービス事業	1,400	1,599	1,583	1,409	1,680	270	119.2
人材サービス事業	537	559	562	593	1,380	786	232.4
その他サービス事業	47	44	46	45	45	0	98.2
小計	49,264	53,254	54,731	52,212	56,800	4,587	108.8
消去又は全社	△ 409	△ 435	△ 422	△ 429	△ 800	△ 370	-
売上高	48,855	52,819	54,309	51,782	56,000	4,217	108.1
物流サービス事業	2,127	2,899	3,095	3,045	3,300	254	108.3
自動車サービス事業	367	300	502	545	700	154	128.3
情報サービス事業	152	168	135	103	170	66	163.9
人材サービス事業	△0	7	22	14	80	65	546.3
その他サービス事業	14	11	13	11	15	3	128.2
小計	2,662	3,387	3,768	3,721	4,265	543	114.6
消去又は全社	△ 1,113	△ 1,158	△ 1,213	△ 1,286	△ 1,465	△ 178	-
営業利益	1,548	2,229	2,555	2,434	2,800	365	115.0

### (3) 品目別業績推移

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
包装	27,459	30,437	32,405	31,894	34,800	2,905	109.1
格納器具製品	4,727	5,584	5,233	3,990	4,330	339	108.5
物流サービス事業	32,186	36,021	37,639	35,885	39,130	3,244	109.0
車両リース	7,342	7,329	7,333	7,237	7,250	12	100.2
車両整備	4,028	4,027	4,143	4,129	4,530	400	109.7
自動車販売	2,801	2,757	2,519	2,013	1,780	△ 233	88.4
カー用品販売	209	213	202	200	220	19	109.5
保険手数料	649	637	636	655	700	44	106.8
その他	62	64	63	39	85	45	214.5
自動車サービス事業	15,092	15,029	14,898	14,277	14,565	287	102.0
情報サービス事業	1,400	1,599	1,583	1,409	1,680	270	119.2
人材サービス事業	537	559	562	593	1,380	786	232.4
その他サービス事業	47	44	46	45	45	0	98.2
小計	49,264	53,254	54,731	52,212	56,800	4,587	108.8
セグメント間売上相殺	△ 409	△ 435	△ 422	△ 429	△ 800	△ 370	-
合計	48,855	52,819	54,309	51,782	56,000	4,217	108.1

## 2. 連結決算の予想

### (4) 設備投資、減価償却費等の予想

(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (実績)	2020年 3月期 (実績)	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (予想)	前期比 (増減額)	前期比 (%)
社用資産投資	994	1,351	1,666	1,199	1,320	120	110.0
賃貸資産投資(※)	2,935	2,830	2,776	2,836	2,200	△ 636	77.6
設備投資計	3,930	4,182	4,442	4,036	3,520	△ 516	87.2
減価償却費	1,375	1,424	1,562	1,553	1,590	36	102.3
リース車輛保有台数	13,483台	13,029台	12,280台	11,839台	11,500台	△ 339台	97.1

(※) 賃貸資産投資につきましては、リース会計基準の改正により、リース用車輛の投資債権は、流動資産の「リース投資資産」に計上しておりますが、比較の便宜上、設備投資として記載しております。

#### 2022年3月期の主な設備投資内容

##### [賃貸資産投資]

- 22億円 (前期比 6億36百万円減) を予想  
(リース車輛保有台数は、11,500台 前期比 339台減 を予想)

##### [社用資産投資]

- 13億20百万円 (前期比 1億20百万円増) を予想

##### 主な投資内容

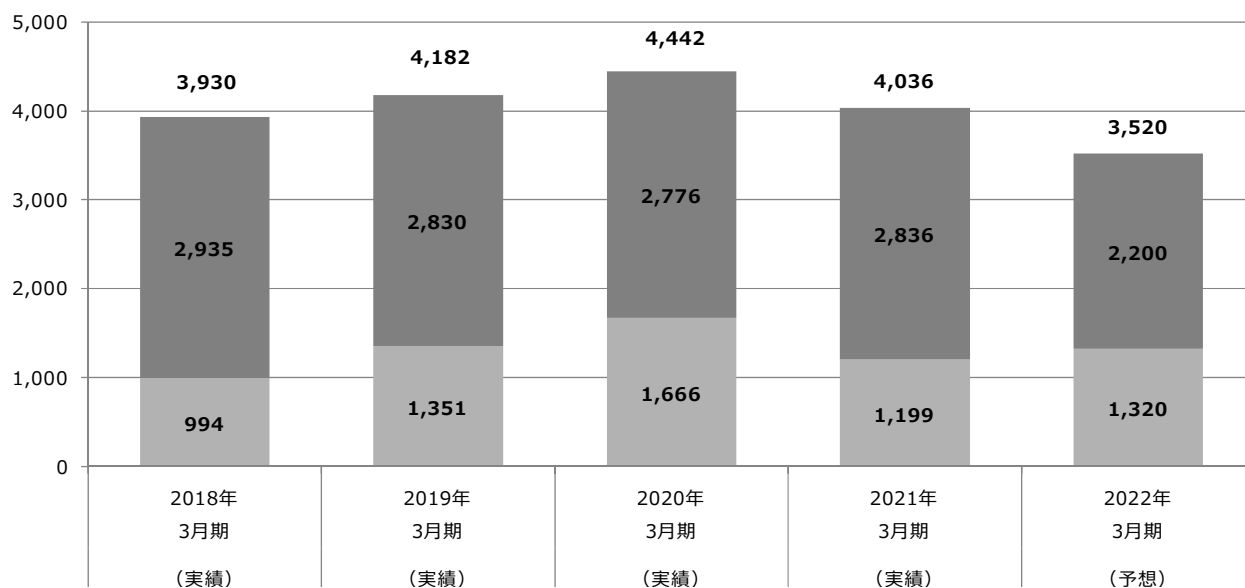
##### (国内)

- ・IT投資 3億
- ・レーザー加工機 3億

##### (海外)

- ・中国子会社の物流器材 1億70百万円

■ 社用資産投資 ■ 賃貸資産投資



### 3. 1 株当たり配当金推移

#### 【配当方針】

継続的な安定配当の実施を基本としつつ内部留保の充実に留意し、業績及び配当性向等を総合的に勘案して、配当政策を決定する。

#### 【2022年3月期 配当金（予想）】

- ・中間配当金は、1株当たり20円
- ・期末配当金は、1株当たり20円を予定
- ・年間配当金は、1株当たり40円を予定

